

「絆を深めて支え合う防災体制づくり」取組報告

1 外国人市民の防災への理解向上に関する取組結果

(1) 概要

「絆を深めて支え合う防災体制づくり」に向けた取組事項の一つに決定した外国人市民の防災への理解向上に関する取組として、中原市民館で開催されている識字学習活動日本語学級において、防災講座を実施しました。

(2) 日時

平成25年3月5日（火） 午前11時から午前11時40分まで

(3) 場所

中原市民館会議室

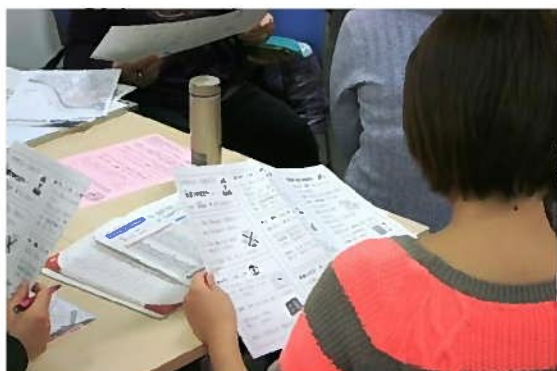
(4) 講義の様子



⇒当日の学級に参加していた37名が話を聞いてくれました。



⇒地震がどういうものかを知ってもらうため、阪神大震災の映像を見てもらいました



⇒資料に沿って、発災時にすべきことや日頃の備えについて、説明しました。

⇒皆さん熱心に聞いていました。



⇒使用した資料です。

当初、「そなえる かわさき やさしいにほんご版」を使用して説明する予定でしたが、内容が難しすぎるとの指摘があり、市国際交流協会が作成したリーフレットで説明しました。

区役所からは、発災時は情報が錯綜し、日本語でも正しい情報を得ることが難しくなるので、外国人市民であればなおさら情報入手について、困ることが予想される。発災時はなるべく日本語が分かる方と共になるべく正確な情報を得ながら、行動することが大切であると説明しました。

(5) 受講者の反応

受講者からは、以下のような質問及び要望がありました。

- ・津波は中原区まで来るのか。
→国、県、市いずれの被害想定においても、中原区には津波は到来しないこととなっている。
- ・地震があったらすぐに避難所へ行けばいいのか。
→避難所は自宅で生活ができなくなった人が集まる場所である。自宅で生活できる限り、自宅で過ごしておいて欲しい。
- ・外国人市民は、避難時の持ち出し品としてパスポートが必要となるが、持ち出し品リストに入っていない。入れておいてほしい。
- ・「そなえる かわさき やさしいにほんご版」は難しすぎて理解できない。母国語版のものが欲しい。

6 学習ボランティアの感想

- ・東日本大震災で被災した外国人市民の生の声を聞くと、さらに実感が湧くのではないか。
- ・来年度以降も実施する場合は、学期の初めに予定に組み込み、十分な準備期間を取ってから、実施してみたい。

2 防災情報の発信に関する取組結果

(1) 防災情報コーナーの設置

① 概要

防災関係のパンフレット等 22 種類を集約した、防災情報コーナーを区役所 1 階設置しました。

② 場所

区役所 1 階正面玄関自動ドア横

③ 期間

平成 25 年 3 月 11 日から 4 月 12 日まで (1 か月間)

④ 設置状況



設置全体図



⑤ 設置後の状況

防災マップなどは手に取る方が非常に多く、随時補充している状況です。

※ なお、防災情報コーナー設置に併せて、同様の情報を集約したサイト「なかはら防災資料館」のページを区役所ホームページに開設しました。

トップページ左側に入口があります



(2) 身近な防災資器材の紹介

① 概要

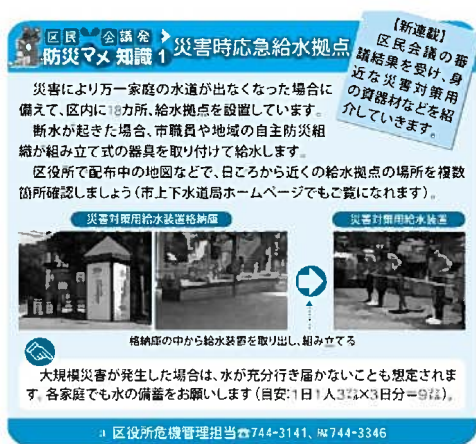
市政だより中原区版で身近な防災対策用の資器材などを紹介するコラムの連載を開始します。

② 期間

平成25年4月1日号から平成26年3月1日号まで（計12回）

③ 初回の記事

初回となる4月1日号は「災害時応急給水拠点」を取り上げました。



編集集中の記事（中原区版4月1日号掲載）